

「再発高リスク子宮体癌における予後因子について」  
に関する研究

1、研究の対象

当院において1990年1月より2015年6月の間に当院で初回治療を施行した再発高リスク子宮体癌患者さんが対象となります。

2、研究目的・方法

子宮体癌は手術によって摘出された検体から病理学的因子（顕微鏡検査による種々のリスク因子）の抽出を行い、再発低・中・高リスク群に分類されます。再発リスクが高いと判断される場合には術後の化学療法等の追加治療を行うことが推奨されています。今までの検討により様々な項目が再発リスクとして判明してきていますが、既存の項目以外にも再発リスクとなる項目がないかを調べることを目的として今回の研究を行う予定です。研究期間は平成32年3月31日までを予定しております。

3、研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料は過去に当院で採取された手術で取得された腫瘍検体であり、情報は通常診療録に記載される情報になります。この研究のために改めて試料・情報を取得することや、侵襲を加えることはありません。取得する情報の内容としては以下の内容になります。

年齢、FIGO病期やTNM分類（病気のひろがりや転移の有無のこと）、治療歴、手術内容、既存の再発リスク因子、病理学的因子、再発の有無、初回治療から再発までの期間、化学療法の奏効率（効果の有無のこと）、再発治療内容、最終生存確認日（または死亡日）等になります。

また試料については既に摘出された検体を用いて、手術時に作成された病理スライドや未染色スライドへの免疫染色（特殊染色による蛋白等の同定）の追加を行い検討をします。

4、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。  
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座 宮本守員

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：

防衛医科大学校病院 産科婦人科学講座 教授

古谷 健一